



## 2020年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月13日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東  
 コード番号 7803 URL https://bushiroad.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 義賢  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350  
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年7月期第1四半期の連結業績 (2019年8月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	8,306	-	1,203	-	1,224	-	642	-
2019年7月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2020年7月期第1四半期 697百万円 (-%) 2019年7月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	40.24	37.87
2019年7月期第1四半期	-	-

(注) 当社は、2019年7月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第1四半期	24,162	13,241	52.1
2019年7月期	24,136	11,905	46.9

(参考) 自己資本 2020年7月期第1四半期 12,594百万円 2019年7月期 11,308百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年7月期	-	-	-	-	-
2020年7月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年7月期の連結業績予想 (2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	11.9	3,100	1.4	3,100	2.3	1,800	0.0	112.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期1Q	16,073,400株	2019年7月期	15,706,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期1Q	-株	2019年7月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期1Q	15,965,576株	2019年7月期1Q	-株

(注) 当社は、2019年7月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年7月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く米中貿易摩擦を背景とした輸出の弱含みなどが見られる一方で、企業収益の底堅い推移や雇用環境の改善により緩やかな回復傾向を示しました。

このような環境の下で、当社グループは「IPディベロッパー」戦略のもと、昨今のライブエンターテインメント市場の拡大傾向が今後も継続するであろうことを見据え、IPを軸としたイベントや音楽ライブの開催、そして新日本プロレスを中心としたスポーツ興行の開催へさらに力を入れるとともに、50年以上の舞台ノウハウを持つ「劇団飛行船」との業務資本提携や女子プロレスブランド「スターダム」の事業譲受を発表いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,306,147千円、営業利益1,203,259千円、経常利益1,224,075千円、親会社株主に帰属する四半期純利益642,447千円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

また、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 セグメント情報」に記載のとおりであります。

#### 1. デジタルIP事業

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルIP事業は、自社IPである「BanG Dream! (バンドリ!)」において、劇場版「BanG Dream! FILM LIVE」が9月13日より全国約80館にて公開され、興行収入は3億円を突破し、多くのお客様にご鑑賞いただきました。また「としまえんコラボ」や「富士急コラボ」、「バンドリ! ガールズバンドパーティ! カフェ 2019」など「バンドリ!」IPの露出施策が多く、相乗する形でTCG「ヴァイスシュヴァルツ」のバンドリ関連商品は再販が決定し、MOG「バンドリ! ガールズバンドパーティ!」はゲーム内イベント施策を中心に好調に推移、またMD展開においてもイベントタイミングを中心に引き続き順調に推移いたしました。さらに「バンドリ!」IPは、前期から続く好調の波を受け、各種メディアミックス展開によるロイヤリティ収入が大きく伸びました。

他社IPである「ラブライブ!」においては9月5日にMOG「ラブライブ! スクールアイドルフェスティバル」の国内ユーザー数が2500万人を突破、さらに9月26日には新作MOG「ラブライブ! スクールアイドルフェスティバル ALL STARS」をリリースし、計画通り順調に推移いたしました。また8月に発売したTCG「ヴァイスシュヴァルツ ラブライブ! feat. スクールアイドルフェスティバル Vol.3~6th Anniversary~」「ラブライブ! サンシャイン!! feat. スクールアイドルフェスティバル~6th Anniversary~」や9月に行われたイベント「スクフェス感謝祭」、10月の「スクフェスポップアップストア」でのMD展開においても着実に売上を積み重ねて参りました。

これらの結果、売上高5,986,423千円、セグメント利益760,566千円となりました。

#### 2. ライブIP事業

当第1四半期連結累計期間におけるライブIP事業は、音楽&舞台部門では「バンドリ!」発のリアルバンド「Roselia (ロゼリア)」が8月3日~4日の2日間、山梨の富士急ハイランド・コニファーフォレストにて単独ライブを開催し、会場とライブ・ビューイングをあわせて約4.3万人を動員いたしました。また、5月から6か月連続でリリースしている「バンドリ!」発6バンドのシングルリリースや、「BanG Dream! FILM LIVE」開催に伴う劇中歌コレクションなどのCDリリースも堅調に推移いたしました。

スポーツ部門においては新日本プロレスにて夏のビッグマッチイベント「HEIWA Presents G1 CLIMAX 29」を開催いたしました。日本武道館三連戦では3.1万人を超える来場者を動員するなど大会を通して延べ約9.7万人と昨年を上回る観客数を動員いたしました。また、アメリカ東海岸3連戦「FIGHTING SPIRIT UNLEASHED」では約5千人を動員、イギリスロンドンで行われた「NJPW Royal Quest」では約6千人を動員するなど、海外でも存在感を示しました。

これらの結果、売上高2,319,724千円、セグメント利益450,756千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は24,162,041千円となり、前連結会計年度末に比べ25,298千円増加致しました。これは主に売掛金が285,585千円減少しましたが、投資有価証券が290,647千円増加したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は10,920,330千円となり、前連結会計年度末に比べ1,310,566千円減少致しました。これは主に台風19号による損害に対して災害損失引当金26,102千円を計上した一方、買掛金が915,242千円、長期借入金が327,551千円それぞれ減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,241,710千円となり、前連結会計年度末に比べ1,335,864千円増加致しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が642,447千円増加したことによるもの及び当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴い、当社普通株式367,400株のオーバーアロットメントによる売出しを行ったことにより資本金及び資本準備金がそれぞれ319,417千円ずつ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期の通期の予想数値につきましては、第2四半期会計期間以降に複数の新規IPのアニメ償却、新作MOGの開発費の費用計上及びそれらへの積極的な広告宣伝を予定していることから、2019年9月13日の「2019年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,850,981	13,770,193
売掛金	4,510,627	4,225,041
商品及び製品	880,159	802,858
仕掛品	774,235	710,217
貯蔵品	88,975	86,116
その他	1,646,973	1,913,475
貸倒引当金	△27,780	△28,492
流動資産合計	21,724,171	21,479,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	192,895	190,139
工具、器具及び備品(純額)	75,102	73,639
車両運搬具(純額)	77,839	69,583
土地	197,981	197,981
リース資産(純額)	22,183	19,862
有形固定資産合計	566,002	551,205
無形固定資産		
ソフトウェア	84,386	80,309
ソフトウェア仮勘定	50,786	53,086
のれん	2,000	1,500
その他	50,936	50,553
無形固定資産合計	188,109	185,449
投資その他の資産		
投資有価証券	471,678	762,325
長期貸付金	435,000	434,633
繰延税金資産	330,212	323,932
その他	408,866	412,384
貸倒引当金	△17,656	△17,644
投資その他の資産合計	1,628,101	1,915,630
固定資産合計	2,382,213	2,652,285
繰延資産		
株式交付費	30,358	30,344
繰延資産合計	30,358	30,344
資産合計	24,136,743	24,162,041

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,277,326	3,362,084
未払金	1,556,997	1,406,989
未払法人税等	567,810	488,513
1年内返済予定の長期借入金	1,490,201	1,504,814
賞与引当金	95,072	182,002
災害損失引当金	—	26,102
その他	798,940	832,777
流動負債合計	8,786,349	7,803,283
固定負債		
長期借入金	3,341,775	3,014,224
役員退職慰労引当金	28,120	28,729
退職給付に係る負債	43,628	45,184
その他	31,023	28,909
固定負債合計	3,444,546	3,117,046
負債合計	12,230,896	10,920,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,755,555	3,074,973
資本剰余金	2,692,326	3,011,743
利益剰余金	5,791,504	6,433,952
株主資本合計	11,239,387	12,520,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,333	2,420
為替換算調整勘定	68,215	71,067
その他の包括利益累計額合計	69,549	73,488
非支配株主持分	596,909	647,552
純資産合計	11,905,846	13,241,710
負債純資産合計	24,136,743	24,162,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
売上高	8,306,147
売上原価	4,415,487
売上総利益	3,890,660
販売費及び一般管理費	2,687,400
営業利益	1,203,259
営業外収益	
受取利息及び配当金	11,606
持分法による投資利益	1,722
為替差益	11,950
その他	3,942
営業外収益合計	29,222
営業外費用	
支払利息	5,246
株式交付費償却	3,159
営業外費用合計	8,405
経常利益	1,224,075
特別損失	
災害損失引当金繰入額	26,102
特別損失合計	26,102
税金等調整前四半期純利益	1,197,972
法人税等	504,882
四半期純利益	693,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	642,447



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	693,090
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,087
為替換算調整勘定	2,851
その他の包括利益合計	3,938
四半期包括利益	697,029
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	646,386
非支配株主に係る四半期包括利益	50,642

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の東京証券取引所マザーズの上場に伴い、当社普通株式367,400株のオーバーアロットメントによる売出しを行ったこと等により、資本金及び資本準備金がそれぞれ319,417千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,074,973千円、資本剰余金が3,011,743千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2019年8月1日 至 2019年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,986,423	2,319,724	8,306,147	—	8,306,147
セグメント間の内部売上高又は 振替高	82,796	89,423	172,220	△172,220	—
計	6,069,220	2,409,148	8,478,368	△172,220	8,306,147
セグメント利益	760,566	450,756	1,211,323	△8,063	1,203,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,063千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、今後の事業展開を踏まえ合理的な区分の検討を行った結果、報告セグメントの変更をすることといたしました。

連結子会社である㈱ブシロードミュージックは、従来「エンターテインメント事業」に含めておりましたが、ライブエンターテインメント事業の強化を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より、従来の「スポーツ事業」と統合し「ライブIP事業」として区分表示いたします。

また、音楽部門を除いた「エンターテインメント事業」を「デジタルIP事業」へセグメント名を変更いたします。

その結果「デジタルIP事業」は「アニメ・ゲーム」を中心に展開するTCG部門、MOG部門、MD部門及びメディア部門から、「ライブIP事業」は音楽ライブ等の事業を担う音楽&舞台部門及びスポーツ興行等の事業を担うスポーツ部門から構成されることとなります。

## (重要な後発事象)

## 浸水による損害の発生

2019年10月12日に「令和元年台風第19号」の豪雨の影響により河川氾濫が発生し、当社の連結子会社である新日本プロレスリング(株)が所有する道場及び寮が浸水の被害を受けました。この浸水による被害額として、当第1四半期連結会計期間末において災害損失引当金26,102千円を計上しております。なお、2019年12月3日にこの被害による受取保険金として33,817千円を計上しております。

また、復旧の見通しは2020年1月であり、当該災害が営業活動等に及ぼす重要な影響はございません。

## 多額な資金の借入

当社は、2019年11月21日開催の取締役会において、資金の借入について決議しました。これは、借入金の返済および今後の当社グループの持続的な業績拡大及び企業価値の向上を目的として、現状の良好な調達環境を踏まえた長期借入金を中心とする安定的な資金調達の一環として本件借入を実行するものです。

(1)借入先	(株)みずほ銀行、(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)りそな銀行
(2)借入金額	3,450,000千円
(3)借入金利	固定金利
(4)借入実行日	2019年11月29日及び2019年12月2日
(5)返済方法	元金均等返済
(6)最終返済期日	借入実行日より4～5年間
(7)担保等の有無	無担保・無保証